

## 【第5回市民公開講演会と親睦交流会】

早春の晴れ渡った青空の下、3月5日（土曜日）午後0時半、東京都江東区住吉の「ティアラこうとう」（江東区公会堂）大会議室にて第5回市民公開講演会と親睦交流会が行われました。司会のMSIF（多発性硬化症国際連合、本部は英国ロンドン）、韓国MS協会メッセージ等紹介後、NPO法人日本多発性硬化症協会、理事長の井形昭弘名古屋学芸大学学長、理事兼医学顧問団代表の糸山泰人国際医療福祉大学副学長、全国多発性硬化症友の会の若林副会長から挨拶を頂きました。その後、平成27年度医学研究助成審査委員長、順天堂大学大学院認知症診断・予防・治療学の田平武客員教授より審査に関する説明・挨拶があり、研究助成表彰式に移りました。受賞された国立精神・神経医療研究センター神経研究所免疫研究部の木村公俊先生、山口大学大学院神経内科の西原秀昭先生、大阪大学大学院神経内科の甲田亨先生に井形理事長より賞状と目録が手渡されました。その後、東京女子医科大学神経内科准教授、清水優子先生の『よくわかる多発性硬化症と視神経脊髄炎の妊娠と出産』と順天堂大学医学部脳神経内科講師、横山和正先生の『MS治療の選択とその注意点』の基調講演。そして、木村先生の『ナタリズマブ治療と炎症性・制御性T細胞バランス』、西原先生の『二次性進行型多発性硬化症の新たな診断・治療マーカーの検索』、甲田先生の『多発性硬化症/視神経脊髄炎における11C-酢酸PETの有用性の検証』の受賞者講演が行われました。さらに特別講演と続きました。多発性硬化症を発症されている落語家の林家こん平師匠を父に持つ笠井咲（かさい えみ）氏は株式会社EMIプランニングの代表取締役社長で、今回『父と私の奮闘記』を熱く語ってくれました。林家こん平師匠も同席されそのお元気なお姿に会場が沸きました。次に、患者の皆様、ご家族の皆様、一般の皆様がご参加の先生を囲み親睦会となりました。NPO法人日本多発性硬化症協会主催の第5回市民公開講演会と親睦交流会は、約100名様の皆様のご協力、ご支援を頂き盛況に終了することができました。後援の全国多発性硬化症友の会の皆様へ感謝申し上げます。また、ご寄附を頂きました各企業様と各製薬会社様の皆様方に厚く御礼を申し上げます。基調講演と受賞者講演を頂きました清水先生、横山先生、木村先生、西原先生、甲田先生、特別講演の笠井咲氏と林家こん平師匠、またご挨拶を頂きました井形理事長、糸山先生、若林副会長、田平先生、水谷副理事長そして講演会にご参加くださいました患者、ご家族、一般の皆様、ボランティアの皆様、ティアラこうとうの皆様へ感謝申し上げます。大変ありがとうございました。今回のアンケートには、「大変分かりやすい基調講演でした。」「笠井咲さんから元気をもらいました。こん平師匠、頑張ってください。」「生の1,2,3! チャラーンが聞けて良かった!」など。この講演会の報告をMSIFに発信し、世界の皆様に共有していただきます。来年は『第6回市民公開講演会と親睦交流会』です。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

井形理事長開会の辞

清水先生講演

笠井咲氏特別講演

(林家こん平師匠ご同席)



特定非営利活動法人日本多発性硬化症協会 事務局長 中島荘次

〒111-0042 東京都台東区寿 4-1-2 電話：03-3847-3561 <http://www.imss-s.jp/>